

五日市中央地区・社協だより

発行：広島市佐伯区五日市中央地区社会福祉協議会

事務所開設のごあいさつ

五日市中央地区社会福祉協議会

会長 下川 真稔



私たちの地区から見えます極楽寺山や鈴が峰などの山々が日ごとに春色を深める頃となりました。新型コロナウイルスの3回目ワクチン接種はお済みですか。依然として、新規感染者数が減らない中、皆さま如何お過ごしでしょうか。案じています。

町内会活動を始めとするさまざまな地域活動が停滞を余儀なくされています。地区社協がもっとも大切にしたい「人と人のつながり」が弱ってしまうのではと心配でなりません。これまで当たり前だと思ってきた日常の買い物や通院、地域行事、外食、行楽などができないためにお身体やお心に変調をきたされた方がおられるのではと…。外出人口の激減によって勤務状況が変わり収入が減少された方が増えたのではないかなどと…。

そうした中、改めてわれわれ地区社協の役割と願いについて考えています。基本的には、暮らしの中でさまざまな「困っている」人たちの声の把握に努めること。「困った」が言いやすい環境を地域ぐるみで整えていくこと。そして、その「困っている」人たちに対して、自分の特技などを活かしたできる範囲内の「応援する」人たち、ボランティアさんを増やしていくこと。

事務所の場所

老人憩の家 中央荘

731-5128 五日市中央5-1-31

☎ 082-923-3750 (呼出)

五日市中央地区社会福祉協議会
スマイル相談所
ボランティアバンク

そうした積み重ねで地域の中に安心が増え、住みやすい地域に一步步近づくことを。

最後にホットニュースをひとつ。これまで会長宅に事務所を構えていました五日市中央地区社協の事務所を、今春から五丁目にあります「老人憩の家中央荘」に設置することにしました。これは、区社協の拠点整備推進策の一環であり、同時に、国や広島市が進める「地域共生社会」具現化の一策でもあります。現段階では、電話など備品等が未整備ですが、月、水、土曜日の10～12時・13～15時に役員が常駐して、先ほどもふれました相談体制を築いていきます。身近な場所に相談窓口ができたことで皆さまの「困っている」に対して、行政や区社協、地域包括支援センター、町内会連合会、民生委員児童委員協議会などのお力も結集して解決、安心して少しでもお役に立つことができればと願っているところです。

今後とも皆さまのご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

是非とも、気軽にお立ち寄りください。

五日市中央地区社協新事務所



～全国老人クラブ連合会
会長表彰を受賞されました～



春秋クラブのみなさん 中央向かって(右)兼光(左)新谷さん

令和3年度全国老人クラブ連合会表彰で、会長表彰〔活動賞〕春秋クラブ(兼光繁宏会長)、会長表彰〔福祉功労者賞〕新谷聡子(宝泉会)さんが、それぞれ受賞されました。

受賞にあたって兼光会長は、受賞に恥じないように引き続き「支えあいのクラブづくり、地域の仲間づくり」を合言葉に、定例交流会をはじめ、町内会、おやじの会、子ども育成会との連携事業に、積極的に参画し地域を活性化したい、と話しておられます。

新谷聡子さんは、長年にわたりシニアクラブのお世話をされた事により受賞されたもので、「これから皆様のお役に立つよう一生懸命がんばります」と話しておられます。

お二人の受賞、心からお祝い申し上げます。

街角の小さな図書館

中央四丁目3番区画市道沿いに小さな図書館があります。子どもや高齢者が本を読んだり、おしゃべりをしたりする憩いの場となっています。

近くに建築施工事務所を開いておられる川下耕平さんが、建築廃材を利用して建てられたものです。現在は寄贈された本が500冊を超えるなど小さな図書館は地域の「人の輪」づくりに役立っています。(下の写真)



シニアクラブが行う社会奉仕活動の一環として、五日市中学校の畑でさつまいもの植え付け、収穫をしました。この農園は、学校を地域に開放し生徒とのふれあいを通じて、安全と交流を図るため、10年前に PTA の手で校内に作られた畑で、シニアクラブ五揚会は今年から参入しました。

出来は上々で、その一部を年貢と称して学校へ差し出し、残りは参加者に分配しました。いもずるも立派に伸び、引っ張りだこでした。

小生、子どもの頃は校庭も開墾されていも畑、いもづるのつくだ煮をよく食べました。れんげやクローバーのごま和えを口にしたこともあります。昭和12年生まれの”牛”で、草を食べて育ちました。

(五揚会々長 戸谷恵一)

☺ 稲迫 ☎921-0124

五中農園

